

令和5年度 まちの決算

一般会計歳出 77億3319万4千円 認定



識見を有する者から選任される委員（熊谷代表監査委員）と、議会から選任される委員（岩谷監査委員）があり、町の財務状況が効率的に行われているかを監査します。

監査委員

令和5年度決算

監査委員の意見



熊谷 孝
代表監査委員

経費節減、合理化対策等が浸透し、効率的な運営がされている。

引き続き、簡素で効率的な行財政運営、長期的視点に立った予算の効率的執行。限られた財源の中でも新たな発想で思い切った政策展開を切望する。

1 財政運営

普通会計の健全化判断比率がいずれも基準を下回っており、財政健全化に向けた成果が表れてる。

2 一層の収納努力期待

町民税のうち個人負担分などの増により、町全体で1.3パーセント増。町税全体の徴収率が、前年度から0.2ポイント増の95.9パーセントとなり、今後一層の収納努力を期待する。

3 効率的な運営されている

予算執行における経費節減、合理化対策などが浸透し、効率的な運営がなされていることは年間を通じての監査状況からも伺える。

4 行財政運営の期待

限られた財源で様々な行政課題に取り組むため、創意と工夫、事務事業の精査と見直し等により効果的かつ効率的な行財政運営を期待する。



岩谷 司
監査委員

町民の生活安定と福祉増進、町の活性化に向けた職員の英知を結集し一丸となって職務に専心することを期待。

「限られた財源」



創意と工夫、事務事業の精査と見直し期待

審査に付された令和5年度普通会計の歳入歳出決算は、証書類及び関係諸帳簿といずれも符合しており、誤りのないものと認められた。

令和5年度の一般会計決算額は、歳入81億700万6千円に対し、歳出77億3319万4千円となり、歳入歳出差引額3億7381万2千円の剰余金が生じたが、繰越明許費繰越額（翌年度へ繰り越すべき財源）1億6982万3千円と事故繰越繰越額6263万6千円を差し引いた実質収支は1億4135万3千円の黒字となった。

歳出では、アフライ焼却施設大規模改修、高規格救急自動車整備などの一部事務組合負担金の増、令和4年8月、令和5年7月豪雨に伴う災害復旧費の大幅増により、前年度から1.9パーセント増となった。



広報ふかうら
P4-5

あわせて
読みたい



令和5年度決算の詳細内容は「広報ふかうら10月号」4ページから5ページを御覧ください。